

記 者 提 供 資 料
2025 年（令和 7 年）4 月 7 日
環境産業局環境室資源循環課（阿江・岩倉） （直通）078-918-5794（内線）7442

魚住小学校における生ごみ処理機導入パイロット事業の再実施について

明石市では、循環型社会の実現を目指し、「ゼロ・ウェイストあかし」を合言葉にごみの減量・再資源化の取り組みを推進しています。

その一環として明石市立魚住小学校における学校給食で発生する生ごみのたい肥化のパイロット事業(2024 年 9 月実施)を実施しましたが、魚住小学校で発生する生ごみの量に対する処理機の処理能力などの課題が明らかになったため、改めて、ごみ処理機の設置台数を増やし、期間を延長した上で実証実験を実施します。

1 事業目的

学校給食に係る生ごみ(調理くず、食べ残し)を処理し、たい肥化させる取り組みを実施することで、地域における循環型社会の形成を目指すとともに、児童の環境への理解や意識向上を目指します。

2 実施場所

明石市立魚住小学校(明石市魚住町清水 570)

3 実施期間

2025 年(令和 7 年)4 月 11 日(金)～2025年(令和7年)7月16日(水) ※1 学期間

4 設置機器

スマートコンポスト コムハム(株式会社 komham 製)

【特徴】

- ・処理量が 97%～98%と多く、処理スピードが1日(処理困難物を除く)と早い
- ・ソーラーパネルによる発電で駆動し、電源が不要

イメージ



980(W)×1365(H)×900(D)mm

5 設置台数

2 台

6 今後について

前回の実証実験において明らかになった課題や、学校における運用面や周辺地域への影響等を再確認した上で、今後の事業化について検討します。